



FLIGHT MULTI PANEL

プロ オートパイロット コックピット シミュレーション コントローラー
ユーザーガイド



フライト



ヨーク システム



ラダーペダル



インストルメント パネル



マルチパネル



ラジオパネル



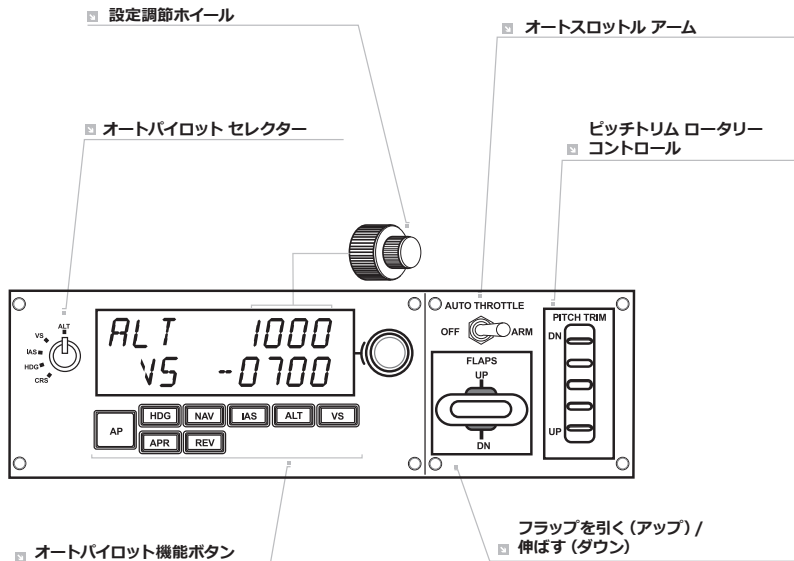
スイッチパネル



ロジクールGのモジュールで、コックピットをまるごと自分仕様でつくれます

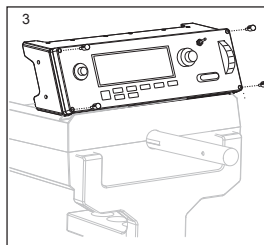
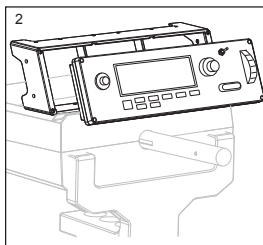
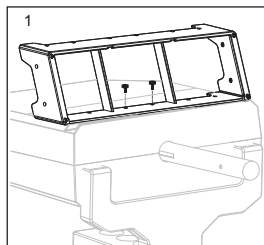
はじめに

マルチパネルはMicrosoftフライトシミュレーターXと連動して、オートパイロット設定、フラップおよびトリムコントロールなどの様々な機能を制御します。



インストール

マルチパネルを同梱の取り付けブラケットに固定します。 パネル隅の穴を通してブラケットにネジを挿入して締めます。 ロジクールGフライトヨーク システムを既にお持ちの場合、同梱のネジを使って、パネルとブラケットをヨーク ユニットの上部に取り付けることができます。

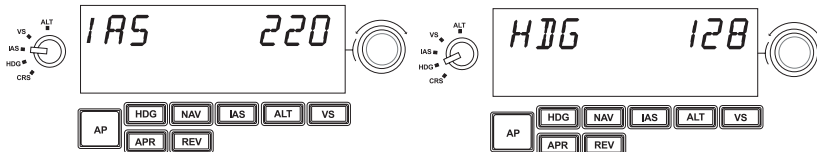


WINDOWS® 10、WINDOWS® 8.1、 WINDOWS® 7での設置

ドライバーのインストール

- 1 logitech.co.jp/support/multi-panelにアクセスして、お使いのオペレーティングシステム用の最新のドライバーとソフトウェアをダウンロードします。
- 2 **デバイスを外した状態で**、画面上の指示に従ってインストールを行います。
- 3 [ドライバーセットアップ]画面で、USBケーブルをPCに接続するよう**促された場合のみ**、その通りに接続してから、**[次へ]**をクリックします。

ロジクールGフライト マルチパネルの使用



ボタン オートパイロット機能

AP	オートパイロットの始動/終了用マスタースイッチ
HDG	選択したコンパス ヘディングに従って飛行します
NAV	選択したNAV1周波数またはGPSに従って飛行します
IAS	選択した表示対気速度で飛行します
ALT	選択した高度で飛行し、その高度を維持します
VS	選択した垂直速度で昇降します
APR	ランウェイ ローカライザーに従ってアプローチを飛行します
REV	ローカライザーからバックコースを飛行します

オートパイロット設定の調整

オートパイロット設定の値を変更するには、まずマルチパネル左側の選択ノブを、調節したい機能にセットします。LEDディスプレイ右側のロータリー コントロールを回して、選択した機能の値を調節します。

高度設定を調整したい場合、左側の選択ノブをALTに合わせてから、右側のロータリー コントロールをセットします。

オートパイロット機能のいずれかを作動させるには、まずHDG, NAV などの機能を選択し、オートパイロットマスタースイッチを押します。

各オートパイロット機能を個別に使用することも可能ですが、以下のように複数の機能を組み合わせて使用の方が一般的です。

オートパイロット設定の例高度20,000フィート、速度150ノット、ヘディング210度で飛行したい場合、最初に左側の選択ノブをALTに合わせ、右側のロータリーコントロールで高度を20,000にセットします。

同様に、IAS(速度)を150、HDG(ヘディング)を210にセットします。高度、速度、ヘディング機能を作動させるには、オートスロットルを「ARM」に切り替え(これによりオートパイロットがエンジンを制御して速度を維持できるようになります)、LED画面の下のHDG、IAS、ALT ボタンを押し、最後にAPボタンを押してオートパイロットを作動させます。この操作により、高度20,000フィート、ヘディング210度、速度150ノットのオートパイロットで制御されます。

注: Microsoft FSXで利用可能な飛行機全てに、オートパイロット機能が完全装備されている訳ではありません。例えば、Cessna C172SP Skyhawkおよび小型飛行機の多くには、オートスロットル アームコントロールがありません - マルチパネルでこの機能を使用しても、その飛行機のオートパイロットは有効になりません。

トラブルシューティング

フライトシミュレーターX (FSX) の適切なプラグインをインストールしたら、次回のFSX実行時に、ロジクールGパネルのFSX用プラグインのロードを試みているというメッセージが表示されます - この画面で[はい]をクリックします。

その後、LogiFlightSimX.exeを実行するかどうかを尋ねるWindowsセキュリティ警告が表示されます - この画面で[はい]をクリックします。

最後に、LogiFlightSimX.exeを信頼できるソフトウェアとするかどうかを尋ねられます - [はい]をクリックします。

パネル ソフトウェアをインストールしたら、FSXソフトウェアの機能をコントロールするように、パネルボタンとコントロールが自動的に構成されます。FSXソフトウェアがパネルを認識しない場合、USBケーブルを外し、再度接続します。

その他のシミュレーターに関するサポートについて、またはご質問がある場合は、サポートページ (logicool.co.jp/support/multi-panel) をご確認ください。

テクニカルサポート

オンラインサポート: support.logicool.co.jp

製品サポート

ロジクールホームページでは、ユーザー登録や製品の最新情報、製品のアップデートファイル、最新のトラブルシューティング等を提供していますので、ぜひご利用ください。

<http://www.logicool.co.jp>

カスタマーサポート

株式会社ロジクール カスタマーサポートページをご覧ください。

support.logicool.co.jp



© 2017 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクール は、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。

WEB-621-000923.003

